

## 令和4年度武蔵野市バリアフリーネットワーク会議要録

日 時 令和4年11月22日（火曜日）午後2時～午後4時30分

場 所 芸能劇場 2階 小ホール

出席委員 稲垣委員、佐藤克志委員、山口委員、福田委員、羽田野委員代理植村氏、  
小原委員、杉本委員、大田委員、山下委員、榎本委員、佐藤宏紀委員、  
篠田委員、濱田委員、田中委員、秦野委員、照井委員、犬竹委員、  
小島委員、山田委員、荻野委員

欠席委員 千葉委員、木川委員、佐藤篤委員、千田委員、大橋委員

### (1) 会長・副会長の選出

	会長に稲垣委員、副会長に佐藤克志委員が選出された。
--	---------------------------

### (2) 前回のバリアフリーネットワーク会議以降の取組みについて

質疑応答者	質疑応答
事務局	【旧基本構想における特定事業計画の実施状況、主な完了事業、資料2の説明】
会長	今の事務局の説明に対して、質問等はあるか。
会長	ないようなので、私から補足する。 前半の説明では、基本構想の中で位置付けられている特定事業の進捗を確認したものである。 後半は、基本構想が新しくなったため、改定のポイントについて説明があった。特に申し上げたいのは、改正バリアフリー法で新たに設けられた促進地区について、まだ基本構想が何もない自治体が、促進地区を設定した上でまずバリアフリー化の方針をつくり、事業を具体化する目的が立ったら基本構想を策定するという想定があるが、武蔵野市はこれとは逆のアプローチである。基本構想の取組が重点整備地区でかなり進んでいて、それら以外の市域全域でさらに方針を定めるために、促進地区が位置づけられている。

### (3) 三鷹駅北口交通街づくりについて

事務局	【資料3、4の説明】
	(現地視察)
会長	説明にあった通り、ユニバーサルな観点で配慮がなされた駅前広場とするために、計画段階からこのタイミングで皆様のご意見をいただきたいという趣旨である。 今回の駅前ロータリーの話において、交通事業者は利用者としての側面もあるため、その観点からもご意見をいただきたい。

A委員	<p>私の所属する団体には、障害者やその親等、様々な方が参加しているが、その月例会で今回のテーマを取り上げて自由に議論してもらった。</p> <p>まず、おしゃれな駅前にしてほしいという意見があった。また、ロータリーの真ん中の銅像はどうなるのか、渋谷のハチ公像みたいに前で写真を撮ることができたらいいという意見も出た。</p> <p>また、バスの正着に関する意見も出た。バスが時間帯によっては正着できない状況があり、車椅子が降りるときには、バスのドライバーが後ろに下がる等の調整をして歩道につけるようしないとイケない。その解決のために、ロータリー自体を武蔵境駅南口のようにのこぎり型にしたほうがいいのかという意見があった。</p> <p>次に、テーブルセットを出した社会実験について、あそこで座って食べていると知り合いに見つかって恥ずかしいという意見も出た。コピスの3階のようなおしゃれな空間であればいいと思う。</p> <p>改札への階段が急であるとの意見も出た。また、エレベーターの数が1つしかないことや、エレベーターを降りたらすぐに屋根がなく雨に濡れる状況も課題である。このために、歩行者の滞留空間を2階に設定したほうがいいのかという意見も出た。そうしたときに、デッキのようなものを周りの民間ビルに連結できれば、他の建物のエレベーターも使えるのではないか。同時に、道路の根上がりしている部分を避けることもできる。</p> <p>また、駅周辺のトイレについて、使いやすいトイレと使いにくいトイレがあるとの意見もあった。ミカレットは使いにくく、近隣の民間施設のトイレを使うことも多い。</p> <p>通勤時における人の流れの激しさについても意見が出た。これを迂回するために、地下道を通っていったんエレベーターの多い南口に出るということもあるが、地下道入り口の柵が邪魔で車椅子の通行が困難な場合がある。</p> <p>最後に、現地視察をして改めて感じたが、道路と線路の間に防音の工夫があったほうがいいのか。耳が聞こえづらい人にとっては会話が難しくなる状況が発生している。</p>
会長	<p>多彩な視点から現状に関して意見をたくさんいただいた。今すぐ対策すべきことについては市や事業者ができるだけ対応したほうがいいのか、今回の意見交換の趣旨に沿った、ユニバーサルな空間づくりのために留意しなければならない観点も多かったように思う。</p> <p>おしゃれな空間づくりについては、デザイナーの力量による部分も多いが、武蔵野市ならではの検討事項といえるだろう。</p> <p>バスの正着の話もあった。武蔵境駅南口のような張り出し型はぜひ採用してほしいところである。</p>

	<p>エレベーターの話についてもおっしゃるとおりで、北口はアクセスできるエレベーターが1つしかない。</p> <p>また、雨の話も出た。雨のときの移動も考えて、計画すべきである。</p> <p>木の根上がりについて、私も現地視察して気になった。長期的に考えると木の成長の具合も変わってくるため、適した木の選定も必要になってくる。</p> <p>民間施設のトイレを使うことも多いとのことだったが、これはトイレの問題に限らず駅前の街づくりとして民間との連携・協調をどのように考えていくのかという広い視点につながる。</p>
B委員	<p>三鷹駅周辺に住んでいる人に聞いてみたところ、やはりまずロータリーが渡りづらいことが課題であるとのことだった。特に視覚障害者の場合、周りの様子が分からない中で車の音が怖いので、駅の改札を出て、下に降りないで、ロータリーの上を渡るような設計ができたらいいい。</p> <p>音声のガイドがないことも課題である。視覚障害者は音声がないとバス停やタクシー乗り場が分からないので、例えばそばに近寄ったときに、「タクシー乗り場です」という音声案内があればいい。今はスマホを近づければ分かるようなアプリもある。</p> <p>3番目に、誘導ブロックもメンテナンスされていないようなところがある。メンテナンスを考えて計画を進めていただきたい。</p>
会長	<p>デッキのご意見をいただいた。改札口が2階なので、特に上下移動が大変な人にとっては、デッキの存在は大きくユーザビリティに関わってくる。視覚障害の観点からすると、道路横断はプラットホームから線路への転落と並んで非常に怖い状況なので、デッキの案も一つあるかもしれない。</p> <p>一方で、まちづくりの全体方針として、空間のデザイン性、景観、環境の話もあり、デッキ案だけが1つの解ではないとも思う。重要なことは、その裏に潜む道路横断に関する問題をいかに解決するのか、上下移動をいかに円滑化するのか等について、頑張っって検討していくことだと思う。</p> <p>車の音が怖いというお話があったが、三鷹駅北口は信号がないので、車の音が消えてしまうと逆に分からなくなるという意見もしばしば聞かれる。また、音情報をうまく活用して現場の状況を伝える視点は重要である。国分寺駅の北口では、人感センサーで感知して「ここのバス停はどこそこ行きですよ」といった音声案内をしている。</p> <p>メンテナンスの話もあった。現地視察により、誘導用ブロックが剥げていたり、エスコートゾーンの突起が取れていたりする状況は私も確認したため、市にはさしあたっての対策として考えていただきたい。</p>
C委員	<p>三鷹駅の北口の話に入る前に、1点お伝えしておきたいのが、今年</p>

	<p>度の5月によく双子ベビーカーを折り畳まずにバス乗車ができるようになった。バス事業者にご理解いただいたことを感謝している。</p> <p>ただ、当事者の皆さんに聞くと、まだまだ乗ることに対して心のハードルが高いというご意見がたくさんあった。制度はできたが、周囲の皆さんの視線が痛いとか、乗るときに心苦しいとか、そういう面がたくさんあるので、心の面のハードルを下げるのがこれからの課題だと思っている。</p> <p>三鷹駅北口については、先ほどもあったが、バスの降車時のときに1回降りてからさらに段差があるので、ベビーカーは大変である。</p> <p>また、雨の日は傘をさしてのベビーカーの移動が大変なので、屋根のあるところに降ろしていただけて、そのまま駅まで通ずる道を通れると安心感がある。</p> <p>また、1番のりばと2番のりばにバスが止まっていると、その奥にあるムーバスのバス停が見えない。子を持つ親としてはバスがいたらできるだけ早く乗りたいが、バスがいるかどうか分からないと、急ぐべきかゆっくりでいいのかが判断できない。したがって、全てのバスが見通せるレイアウトにさせていただけるといい。</p> <p>あと、自転車について、吉祥寺から武蔵境に抜けるとき、三鷹駅近くを通り過ぎることがあるが、自転車はどこを通ったらいいか分からない。歩行者通路を縫うように走らなければならない、危険を感じる。ここを通ったらいいという判別線が視覚的に分かるようになるといいと思う。ロータリーから吉祥寺のほうに行く道路は大きくていいが、路肩に業者の車がたくさん停まっていて、自転車が車道を通るときは必ず何回か道路の中央に出なければならない。</p> <p>あと、先ほども出た歩行者と車の交錯については、やはりどのタイミングで歩道を渡っていいか分からない。</p>
<p>会長</p>	<p>最初に、双子ベビーカーを折り畳まなくてもよいという制度的な部分が進展しているが、人々の心の問題がまだ残っているということだった。一昼夜にして解決するものではなく、地道に取り組んでいく必要があるだろう。</p> <p>あとは、バスの正着の話があった。ベビーカーを乗せるバスが、段差の問題をどのように配慮すべきかについて、実態を詳細に整理して対策を検討する余地がある。</p> <p>雨天のときの動線をどのように考えるのかについては、計画の段階から想定はしないといけない。</p> <p>また、新しい視点と感じたのは、ムーバスが見えないという課題である。駅前空間の検討では真上から見た平面図で考えることが多いが、駅から出たときの見え方や、動的に様々な車両が通行、駐停車する中で、</p>

	<p>何ができて、何が見えなくなる可能性があるのかというシミュレーションは有用である。景観だけではなくて、利用者のユーザビリティの観点からの見え方の検討が必要である。</p> <p>自転車の話は非常に難しく、これは三鷹駅周辺の話だけではない。広域的に見た自転車のネットワークの状況を踏まえて、どうつなげていくのか、そしてウォークアブルなまちづくりを進める中で、自転車による東西移動のニーズをどうやって周りの道路で受け入れていくのか、そしてそれが荷さばきとどう共存するのか。荷さばきについては、吉祥寺の実績も参考にしながら検討できればよいだろう。</p>
D委員	<p>大きな視点や長期的な視点ということなので、分かりやすさと楽しみ、あと使いやすさの視点を挙げたい。</p> <p>最初に、先ほどの現地視察のときに説明を受けた場所がとても便利で、障害当事者の方の外出活動などで待ち合わせ場所に使っている。交番があって、お巡りさんがいるので安心して、後ろにトイレもあって、適切な広場もあるので、他の方にご迷惑がかからないように集まったりすることができる。今後も駅前広場の役割として、利用する方々の楽しみにつながっていくような、そこからまたバスに乗ったり、電車に乗ったり、徒歩で出かけたというように拠点として活用できる場所があるとありがたい。障害者の方にはバスや電車が大好きな方がとても多いので、そういった場所が少しでもあると、楽しめて、生活の広がりにも続いていくと思う。</p> <p>また、分かりやすさについては、デザインが優先されるあまりに、目的がなかなか分かりづらいときがある。例えば建物について、どこから入ったらいいのか分からないようなものもある。</p> <p>そして、ふだん活動などで作っている作品を、土日にマルシェのような企画で販売させていただく機会があるが、引き続き市民の皆さんや三鷹に来た皆さんと交流できるような場所があるといい。</p>
会長	<p>キーワードとして、分かりやすさと、楽しみと使いやすさというところで、同感である。</p> <p>たしかに私も交番横のあの空間で、駅舎を背にしばらく眺め続けることはしたことがなかった。障害者に限らず鉄道やバスが好きな人は多いから、様々な公共交通との触れ合いを楽しめる場所として、駅前空間を楽しめる場所としての雰囲気づくりも大切である。</p> <p>デザインを優先しすぎて建物のアクセス方法が分かりにくいという指摘については、ユニバーサルデザインの観点からのアフォーダンスをいかにしっかりやっていくのかという話だと思う。見て、感じて、利用できるために、利用者の多様な認識方法を踏まえて検討すべきである。そういう意味でも色の見え方やサインの見え方等の配慮が必要である。</p>

	<p>交流の場としての利活用についても同感で、ぜひコンセプト設定のところで議論してほしい。</p> <p>先ほど事務局の最初の説明の中で、2ロータリー化という話があったが、これを本当に実現できるのであれば、何人かの委員からお話のあった、横断歩道を渡らないと北側に抜けられない状況はなくなる。しかし、本当に2ロータリー化したときに、今あるバスの運行本数をきちんとさばけるほどの設えが実現可能なのかといった検討が必要となる。この点について、交通事業者の委員に、先ほど私が申し上げたロータリーの利用者側としてのご意見であったりとか、もちろんお客様にこのサービスをご提供される立場でのご意見をいただきたいが、いかがか。</p>
E委員	<p>今、様々のご意見の中で、バスの正着ができないというご意見をたくさんいただいたが、ロータリーの整備に当たっては、やはり張り出し型のバス停としていただきたい。</p>
会長	<p>張り出し型のベイであれば、バスも正着しやすい。様々な車両の軌跡を描いていったときに、運用も一緒に併せて考えていかないといけないが、そこはかなり初期の段階からバス事業者と調整すべきである。車道側の取り回し、駅舎とバス停を結ぶ動線、災害時や雨天時の移動といった様々な要素がある中で、最適解を探る検討が必要である。</p> <p>今までのご意見を踏まえて、事務局からコメントをいただければと思うが、いかがか。</p>
事務局	<p>デッキと2ロータリー化について、少し補足する。</p> <p>まず、デッキについては、良い面と悪い面があると考えており、慎重な検討が必要と感じている。</p> <p>また、2ロータリー化は、現在の広場面積では難しいと考えており、周囲の地権者の方々のご協力をいただかないと実現できない。駅前広場の拡張と2ロータリー化はセットとして考えている。</p> <p>社会実験については、人の目が気になるというご意見をいただいたが、もっともと思う。一方で、普段は狭い店舗に入ることのできないことも多いベビーカーの方や車椅子の方からは、使いやすいといった好意的なご意見もいただいている。</p> <p>トイレの問題については、公共だけで解決できない部分があると思うが、どこのトイレにどのような機能があるか、といった情報発信の部分も含めて、非常に重要な視点と受け止めている。</p>
会長	<p>そのほか、事務局から何かあるか。</p>
事務局	<p>私のほうから、全体的なことについて発言する。</p> <p>平成22年、23年に、現在の広場を整備した。バリアフリー化を当時から意識し、段差の解消、交錯の減少等、一定の成果はあったが、バスの正着等の問題は残っており、課題を抱える広場として現在も運用してい</p>

	<p>る状況がある。</p> <p>これまでも、バス事業者の協力を得ながら、車両の実証実験を実施し、既存の広場の面積の中で、かつ現在の交通体系の中で改良の道がないか探った経緯もある。</p> <p>その中で現在の駅前広場の面積や交通体系では課題を全て解決することはできないため、交通環境の基本方針の策定に向けた考え方にに基づき、現在検討している。</p> <p>一方で、誘導ブロックの破損や、根上がり、車両の駐停車等、さしあたっての課題もある。今回のご意見を参考に、安全性の確保に努めていきたい。</p> <p>また、交通環境基本方針の策定に向けた考え方について、今年度から地域のご意見を聞くための地域展開として、オープンハウスやワークショップ、研究会を行っている。オープンハウスについては、タワーズマルシェさんと一緒に道路上でパネル展示を行った。最初はマルシェにいらっしゃった方に興味を持っていただけるか不安もあったが、多くの方に興味を持っていただき、職員の説明員も追いつかないほど盛況だった。</p> <p>同様にワークショップについても、多くの方からご意見を伺うことができた。</p> <p>本日いただいたご意見も参考にしながら、三鷹駅北口をよりユニバーサルなものにしていきたいと考えるが、多様な意見をどのように最適化していくかが重要である。今後も皆さんのご意見をいただきながら進めていきたい。</p>
会長	<p>鉄道事業者からもご意見をいただきたい。</p>
F 委員	<p>鉄道事業が本業ではあるが、北口の駅前広場の半分程の土地を所有しており、管理は市と連携を取り行っている。</p> <p>また、鉄道以外にも、生活サービスにも力を入れている。三鷹駅北口に面した商業施設も、今後の駅前広場に併せて形が変わっていくのであれば、いろいろな考え方を持って地元の皆様に喜ばれるような駅及び生活スタイルや設えを検討していこうと考えている。ぜひ皆様のご意見をしっかり受け止めた上で、経営判断する上で参考にさせていただければ非常にありがたいと思う。</p>
会長	<p>埼京線の浮間舟渡駅の駅前用地は、3分の1程度が鉄道事業者の管理で、バス事業者やタクシー事業者との調整を進めた結果、スロープ付きのタクシー乗降場所が2箇所設置された。関係者が知恵を結集していいものをつくっていくことが必要である。</p>
副会長	<p>現場を視察して、それぞれの委員の視点から、様々な意見が出た。これらについてバランスをとりながら調整し、整備を進めていくために</p>

	<p>は、今後様々な議論をしていく必要がある。</p> <p>そのときには、今日のような会議体ではなく、ワークショップ的に言いたいことを言い合うような機会があってもいいかもしれない。今後も複数回やってみてはどうか。</p> <p>事業者は、皆さんからの意見を聞くだけになってしまいがちだが、今回の場合には、冒頭に会長が言ったように、事業者もユーザーの1人である。積極的に意見を言いながら、市民の皆さんにも理解をいただいて、協働してつくり上げるということが今後重要になってくると思う。</p> <p>今日は、議論の入り口の入り口に立ったところだと思うので、今後も議論を継続して行ってほしい。</p>
会長	<p>三鷹駅北口の議論は、長期的な視点に立ち、当事者も事業者も発言しやすい環境を一緒につくり、多様な意見を取り入れていくことが必要である。その際、当事者に対する理解だけではなく、事業者側、管理者側の事情の理解もこれからは強く求められる。武蔵野市なら、そのステップに進めると思う。</p>
A委員	<p>せっかくバス事業者がいらっしゃるので、一言だけコメントする。</p> <p>所属する団体でとあるバス事業者にアンケートのご協力をお願いしたところ、しっかりと返ってきて、それがとてもありがたかった。</p> <p>また、昨日の部会の中でも、とあるバス事業者のドライバーが最近よくなったという話題が出た。</p> <p>また、とあるバス事業者のバスで、医療的ケアを要する子供を乗せている方が、運転手にスロープを出してほしいとお願いしたときに、断られたことがあるとのことだった。それがバギーではなくて子供の車椅子であることを説明したら、喜んで出していただけだったが、車椅子であることを言い出さなくても済む方法もあったのではとも感じている。</p>
会長	<p>交通機関の利用場面において、当事者の方からどのようなアピールをすることが望ましいのかは、当事者・事業者の話し合い中で有益な知見が出てくると思う。</p>

(4) その他

事務局	<p>次回の会議は来年度開催予定である。</p>
-----	--------------------------